



2022・9・1(木)
縄瀬 保育園
池之上 俊江
NO. 10

土・水の力

築山工事の朝、大型のトラックやショベルカーが園庭に入ってくると、何が始まるのかと子ども達も何かと慌ただしくなります。絵本で見ていた乗り物(トラックやショベルカー)が目の前で作業している様子を真剣に見つめています。築山ができる過程を見る事で、どうすれば高くなるのか?と土を高く積む仕組みを学びます。それがまた遊びに発展していくのです。完成した築山は、粘土土(ねんどつち)と山砂の二種類を使っています。山砂は粘土質が多い事もあって、水を入れると田んぼのようにヌルヌルします。ほどよい湿り具合の山砂は、団子作りやままごとの素材にぴったりです。粒子が細かく珍しい感触で、長い時間触っている姿を見かけます。水や砂の感触遊びは、心の安定にも関係しています。5歳児はその砂を利用して泥団子作りに夢中です。手先を器用に動かし、砂が丸い塊(かたまり)となり、何日もかけて丸める事で美しい球体になっていきます。その過程が、根気強さ・考える力・達成感を育て、子ども達の心に残る出来事として記憶に残っていくのです。快の経験が心を動かし(情動)、脳の前頭前野を刺激させ、発達に大きな影響を与えます。(非認知能力)

団子作り以外にも急な斜面に挑み、登りきった後には軽快に駆け下ったり、ズボン真っ黒にして築山を滑り台にしたりと遊び方は様々です。「泥」「水」と季節に関係なく、今後も大胆な遊びが続きそうです。

伝え続ける責任

3・4・5歳児に8月15日の終戦に関する絵本を読んだ時に「可哀想だ。痛いよね。」という意見と共に「武器を持って戦えばいいんじゃない。」と語る子どももいました。近年、ウクライナ襲撃や世の中の悲しいニュースを見たり、聞いたりする機会が多い子ども達。これが今の時代を生きる子ども達の素直な意見かと驚きました。銃撃や殺人とまるで、ゲームの様な世界が現実化している今子ども達へ与えている影響は、私達が思っている以上に深刻です。情報が拡散し、携帯やiPadひとつでリアルな映像もすぐに関覧する事ができます。テレビや子ども向けマンガも、子どもには刺激が強すぎる残酷な場面や、登場人物が繰り返し生き返る映像を見ている事で、人間は一度倒れてもまた生き返ると、間違った認識をしている子も少なくありません。これから多様な情報社会を生きる子ども達に今、私達大人ができることは伝え続ける事だと思います。私達は戦争を知らないけれど、当時の様子を語ってくれる方々がいました。お盆になると提灯を持って出かけ、私達が今を生きているのは、苦しい時代を生きた先祖のおかげだと、感謝の気持ちを教わりました。終戦を迎えて今年で77年。今まで語り継いで下さった方も高齢を迎え、当時の話を聞く機会も今後、少なくなると思います。「戦争をしても幸せにはなれない。大切な命が無差別に失われる戦いは、二度と繰り返してはいけません。」そんな願いを込めて、これかも毎年8月には子ども達へ伝え続けたいと思います。手を合わせて祈る意味、感謝をする気持ちと幼い園児には難しい事ですが、いつか理解できる日まで身近にいる大人が協力して戦争の悲惨さ、命の大切さを語り続け、平和な未来を願い続けたいと思います。

「このよでいちばんはやいのは・・・」

ロバート・フロマン原作の絵本で、宮日大賞を受賞した名作です。あらすじは「はやい」ってなんだろう。の冒頭から始まり、カメをはじめ様々な動物が登場します。その後は、新幹線やジェット機と速さを比べてそれより速いのは・・・音?光?いいえ、光より速いものがこの世にはあります。その答えは私達人間に関係する事なのです。この本を最後まで読んだ後に、目を閉じます。そうする事で、いつも自分が当然の様に発揮していた力が、偉大な事だと改めて感謝できます。この絵本を読んだ後に、5歳児が目を閉じ、「凄いよ! 僕いま頭の中の海で泳いでる!」とそれは驚く様に話しました。生きているからこそできる事、感じる事です。しかし、その力を間違った方向に使ってしまい、家族や他人、自分自身を傷つけている人が沢山いるように思います。この絵本を読んで、人として生きられる事に、感謝を感じてほしいと思います。生きる事は、楽しみの分だけ苦しみもあります。その苦しみを避けて前に進む事は、決してできません。自分が苦しい場面に遭遇した時、苦しみを乗り越える手段を選択できる力が必要になります。この力を育てる為に、子ども達が今するべき事はとにかく遊ぶ事です。遊びの中で人間関係、探求心、思考力と「生きる力」を身につけています。一人で出来ない事は、仲間と協力する事を、集団生活の中で学んでいます。小さな失敗や成功体験の積み重ねが、その場にあった力を発揮できる(適応能力)として育っていきます。人間は死ぬ直前まで「考え続ける」生き物です。脳が急激に発達する乳幼児期に、子ども自身が主体的に行動できる環境が重要です。遊びや生活を選択する経験が多い程、自身で考える時間や仲間と話す時間が増えます。遊びは学びです。何よりも遊びの時間を優先させたいです。さて、このよで一番はやいのは何でしょうか?ぜひ読んでみて下さい!!

